

# 高橋殿御返事

御書全集 1467 1行目〜3行目  
編年体御書 1427 1行目〜3行目

同じ米穀なれども謗法の者をやしなうは仏  
種をたつ命をついで弥弥強盛の敵人となる、  
又命をたすけて終に法華経を引き入るべき故  
か、又法華の行者をやしなうは慈悲の中の大  
慈悲の米穀なるべし、一切衆生を利益するな  
ればなり

## 語句

### 仏種

仏になるための種子、成仏の根本因。衆生の生命に本来、具わっている仏性や、衆生の仏性を開発する仏の教法のこと。

## 通解

同じ米であつても、謗法の者を養うのは、成仏の種子を断つ働きをする者の命を永らえさせて、さらに強盛な敵人としてしまうことになる。それとも、命を助けて最終的には法華経に引き入れることになるのであるか。

また法華経の行者を養うのは、慈悲の中の大慈悲の米である。一切衆生を利益するものだからである。